

# 令和2年度一般会計決算とことんチェック!

令和2年度一般会計決算は、9月2日に上程され予算・決算特別委員会に付託された。それぞれ、総務・産業建設・民生・教育の分野ごとの小委員会により詳細な説明をうけ、16日に予算・決算特別委員会を開催し全体の質疑を行った。また、24日の本会議で委員会の審査結果報告を受け採決を行った。  
 予算・決算特別委員会（委員長 竹中 秀夫）における主な質疑は次のとおり。

## 総務部門

**問** ①防災無線をデジタル方式へ更新したが、配布率が69%と低く、その理由について問う。  
 ②消防団員が減少傾向にある。訓練や現場活動は、大変な任務であり、組織形成の考え方について問う。



デジタル方式の防災無線

(村田 定議員)

**答** (くらし安全環境課長)  
 ①集合住宅への配布が伸び悩んでおり、所有者を通じての配布を検討する。全世帯への配布に向け引続き啓発に努める。  
 ②昨今の勤務形態の変化等により全国的に団員減少となっている。消防活動は、常に危険が伴うことから地域を含め

団結を高めている。今後も、団員の加入促進と充実強化に取り組んでいく。

**問** ウォーカーブルタウン創造事業で人流調査をした内容、場所、箇所数を問う。

(森野 隆議員)

**答** (みらい創生課長)  
 町内の人や車の動きを可視化するために、WiFiパケットセンサーを湖東三山館やふれあい本陣等11箇所を設置した。

**問** ①コロナ禍で行事がで  
 きず、活動が停滞する問題を自治会が抱えている。今後の自治会の活性化について問う。

**答** (みらい創生課長)  
 ①自治会ミーティングで地域

**問** ①令和2年度から開始された会計年度任用職員制度のメリット、デメリットについて問う。  
 ②庁舎等リニューアル工事設計業務の進捗状況を問う。

**答** (経営戦略課長)  
 ①メリットとして、正規職員に近い形であり、社会保障制度等の充実により、雇用の安定につながっている。デメリットとして、公募が遅くなること人材が他市町に採用される

の実情をうかがい、それぞれの地域に見合った手法により、活性化に向けて取り組む。  
 ②元隊員に対しては、様々な関係をもちながら地域の情報提供等の支援をしていくことが重要と考える。

(くらし安全環境課長)

③本町が少ない要因は、民間センターへの直接搬入が多く、行政主体のごみ処理量が減少している。  
 また、ごみ分別の徹底等住民意識が高いことが要因と考える。

**答** (経営戦略課長)  
 ①令和2年度から開始された会計年度任用職員制度のメリット、デメリットについて問う。  
 ②庁舎等リニューアル工事設計業務の進捗状況を問う。

(瀧 すみ江議員)

**答** (くらし安全環境課長)  
 ①集合住宅への配布が伸び悩んでおり、所有者を通じての配布を検討する。全世帯への配布に向け引続き啓発に努める。  
 ②昨今の勤務形態の変化等により全国的に団員減少となっている。消防活動は、常に危険が伴うことから地域を含め

(公共施設最適配置推進室長)  
 ②建築確認の結果を待っているとされており、工期は9月以降である。

**問** 移住・定住ポータルサイトは随時更新していく必要があるが、効果について問う。

(河村 善一議員)

**答** (みらい創生課長)  
 企業の動画を掲載する等本町を近く感じるサイトにした。公開は今年度からであり今後状況を把握し、分析していく。

**問** 湖東定住自立圏の第二期共生ビジョンが終了したが、その成果と今後の取り組みについて問う。

(西澤 桂一議員)

**答** (みらい創生課長)  
 各部署によりKPI評価を実施している。愛のりタクシーも湖東定住自立圏で実施している事業であり、公共交通の利用しやすい形を進めている。

**問** ①経常収支比率の動向が、令和2年度91.9%で、平成29年度98.4%である。その要因について問う。

**答** (経営戦略課長)  
 ①平成29年度は、普通交付税と税収入が低く悪化していた。令和2年度は、普通交付税収入増加や合併振興基金を取崩し活用したことで経常収支比率が改善した。

(辰巳 保議員)

**問** ①平成29年度は、普通交付税と税収入が低く悪化していた。令和2年度は、普通交付税収入増加や合併振興基金を取崩し活用したことで経常収支比率が改善した。

(町長)

②実態として、予算と決算が同額にならない。実質収支額4億円を他事業に回すという課題意識も重要であると考えている。

## 産業建設部門

**問** ①ウォーキング、サイクリング、ドライブの観光周遊ルートの活用方法、周知方法を問う。  
 ②町民が本町の魅力を再発見してもらおう施策について問う。

(村西 作雄議員)



観光周遊ルートパンフレット

**答** (商工観光課長)  
 ①町内の資源を有機的に連携させ、魅力向上を実現するため、観光周遊プランのモニターリングツアーを11月頃実施し、参加者にSNS等での積極的な発信を行っていた。

②町観光ボランティアガイド協会と連携し、宇曾川ダム周辺マップ、中山道周辺マップを作成しているところであり、町民対象のウォーキングイベントを予定している。これにより、魅力の再発見や愛着を感じてもらおう。

**問** ①町道愛知川栗田線の進捗状況を問う。  
 ②豊国道路切の協議状況について問う。

(辰巳 保議員)

**答** (建設・下水道課長)  
 ①用地交渉を中心に進めているところである。次年度以降も計画どおり進めていく。  
 ②道路幅は県で実施されており、踏切の拡張についても近江鉄道と協議されている。



豊国道近江鉄道踏切(市地先)



町道愛知川栗田線